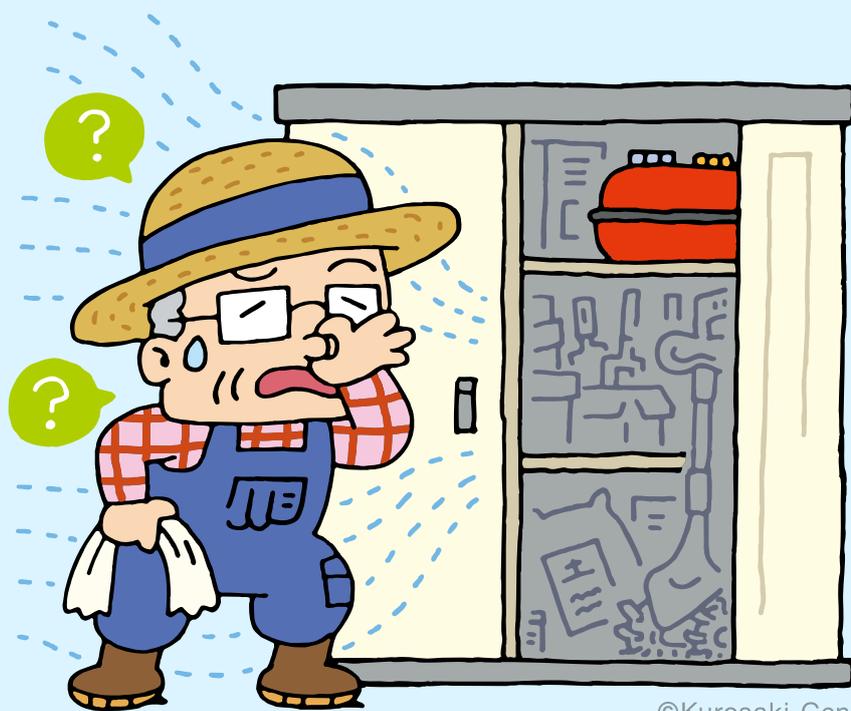


見守り 新鮮情報

事例1 15年前にホームセンターで購入した**ガソリン携行缶**にガソリンを入れ、倉庫に**保管**していた。ガソリンの臭いがするので調べると底に**亀裂**が生じ、ガソリンが**漏れていた**。(70歳代 男性)

事例2 2年以内に購入した**ガソリン携行缶**でガソリンを**保管**していた。保管していたガソリンが**減っている**ことに気づき、確認したところ、底に数ミリの**亀裂**が入っていた。(70歳代 男性)



©Kurosaki Gen

ガソリン携行缶の 取り扱いに気を付けて

ひとこと助言



長期保管
しないで

- ガソリン携行缶でガソリンを長期保管したり温度変化の大きい場所で保管したりすると、内圧の変化が繰り返され、亀裂が生じて漏れることがあります。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい危険物であるため、携行缶を使用する際は、取扱説明書に従いましょう。
- ガソリン携行缶は高温になる場所に置かないでください。中のガソリンが蒸発して内圧が上がり、キャップを外した際に噴出する危険があります。
- 一度でも変形したことがあるガソリン携行缶の使用はやめましょう。